

わたしたちの魂の造り変えを通して命において成長することは、
からだの建造のためである

聖書：Ⅱコリント 3:16-18. ローマ 12:2. Ⅰコリント 3:6, 9, 12-13. ピリピ 2:2. エペソ 4:12-16

I. わたしたちの霊の再生は一瞬にして起こり、わたしたちの体の栄光化はまたたく間に起こりますが（Ⅰコリント 15:51-52）、わたしたちの魂（思い、感情、意志）の造り変えは長い過程であり、わたしたちが経過しなければならない長い「トンネル」です：

- A. わたしたちの霊的生活は、再生から始まります。わたしたちが主イエスを信じて、彼の御名を呼び求めたとき、彼は命を与える霊としてわたしたちの霊の中へと入ってきて、それを再生しました。その時以来、三一の神はわたしたちの霊に内住しており、霊の中でわたしたちは彼と一です——ヨハネ 3:6. 1:12-13. ローマ 10:12-13.
- B. 今、彼はわたしたちの霊から魂の中へと広がる必要があります。彼が命を与える霊としてわたしたちの魂の中へと広がり、それに浸透したとき、わたしたちは造り変えられます——Ⅱコリント 3:16-18. ローマ 12:2：
 - 1. 造り変えはわたしたちの魂が三一の神によって浸透されることです。
 - 2. 再生はわたしたちの霊の中での誕生であり、造り変えはわたしたちの魂の中での浸透です。
- C. 造り変えは新陳代謝的な変化です。それは、外側の変化や更正ではなく、信者たちの中での神の命の新陳代謝的な機能であり、外側の表現を生み出します。

II. 信者たちが神聖な命において成長しようとするなら、神聖な命の要素は彼らの中で増し加わり、新陳代謝的な変化を生み出します。こうして、彼らの内側の性情は造り変えられ、彼らの外側のかたちも造り変えられて、主と同じかたちになります——Ⅱコリント 3:18：

- A. 内側の新陳代謝を通して外側に表現されたものだけが、真の健康、真の美しさです——参照、出 28:2. ローマ 13:14, 12.
- B. わたしたちが主を見つめることによって主のかたちへと造り変えられるとき、それはわたしたちの自己修養の結果ではありません。それは、主なる霊、すなわち主キリストが復活において成った命を与える霊が、わたしたちの内側で運行して、神聖な命の要素の増し加わりを通して、新陳代謝的な変化をわたしたちの中に生み出すことです。
- C. イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給がわたしたちの霊から魂の中へと広がるとき、それは新陳代謝の内なる課程を開始させ、外側の現れという結果になります。そのとき、人々はわたしたちを通して現されるものが、わたしたち自身ではなくキリストであることがわかります——ピリピ 1:19-21 前半。
- D. わたしたちはイエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を享受して、彼にわたしたちの中で働いていただかなければなりません。これが造り変えです。わたしたちが日ごとに心を主に向けることによって主に触れ、主の要素をわたしたちの中へと入れさせるなら、新陳代謝は自然にわたしたちの中で起こり、わたしたちは栄光から

栄光へと造り変えられて、主を表現するでしょう——Ⅱコリント 3:16-18。

E. わたしたちは造り変えられるために、あらゆることにおいて彼と話し、相談する必要があります——「何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることがを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい」——ピリピ 4:6：

1. わたしたちに何か問題があるなら、わたしたちはただ主に告げればよいのです。彼はわたしたちのすぐ内側において、顔と顔を合わせてわたしたちと共にいます——参照、出 33:11。
2. 思い煩いが来るとき、わたしたちはこのように言うべきです、「おお、主よ、この思い煩いはあなたのものであって、わたしのものではありません。あなたはそれをわたしのために担ってくださるので、わたしはそれをあなたに渡します」。こうして、わたしたちは主の要素をわたしたちの中へと受け、新陳代謝が絶えずわたしたちの中で作用します。これがキリストを生きることです。
3. この秘訣（ピリピ 4:12, 6）を知らない人たちは、キリストを生きることは難しいことであると考えます。実は、わたしたちは絶えず主と語ることを実行すればよいのです。そうすれば、自然に、わたしたちはキリストを生きるでしょう。

Ⅲ. 命における真の成長は、魂の造り変えです：

A. 十人の処女のたとえの中で（マタイ 25:1-13）、主イエスは処女たちのともし火と器について語りました。思慮深い者たちも愚かな者たちも、ともし火に油を持っていましたが（8節）、思慮深い者たちだけが、器に油を持っていました：

1. わたしたちは二つ分の油を必要とします。一つはともし火のためであり、もう一つは器のためです。
2. 救われた人たちはみなともし火に油を持っています。それは、わたしたちが霊の中にその霊を持っているということです（箴 20:27）。しかしながら、わたしたちが器に（ローマ 9:21, 23）、すなわち、わたしたちの魂に余分な油を持っているかどうかは、また別の問題です。
3. わたしたちが愚かな処女であるか思慮深い処女であるかは、わたしたちの霊ではなく、わたしたちの魂にかかっています。わたしたちの霊は再生されていますが、わたしたちの魂はその霊で浸透される必要があります。わたしたちは器に余分な油を持つ必要があります。

B. このたとえは、わたしたちが再生された後に、造り変えられる必要があること、すなわち、命において成長する必要があることを、わたしたちに見せています。わたしたちの霊の中に住んでいる命は、わたしたちの魂の中へと広がって、それが浸透されるまでになる必要があります。神聖な霊の新しい要素がわたしたちの魂の中へと入るとき、わたしたちの魂は有機的に造り変えられます。そして、この造り変えが命における成長です。

Ⅳ. Iコリント第3章は言います、「わたしは植え、アポロは水を注ぎました。しかし、神が成長させてくださったのです。……あなたがたは神の耕された地〔農場〕であり、神の建物であるからです。……ところが、その土台の上に、人が金、銀、宝石、木、草、刈り株をもって建てるなら、それぞれの人の働きはあらわになります」——6, 9,

12-13 節 :

- A. これらの節は、造り変えと命における成長が同じであることを見せています。わたしたちは神の農場で成長する植物として始めて、最終結果はわたしたちが造り変えられて金、銀、宝石になることです。
- B. この農場はまた建物であり、内住の霊がどのようにわたしたちの霊から広がって、わたしたちの魂を飽和して、わたしたちを造り変えるかを説明しています。
- V. わたしたちが、わたしたちの霊の中の内住の霊にわたしたちの魂の中へと広がらせ、それを浸透させるなら、わたしたちは自然に一となります。すなわち、わたしたちは「魂において結合され」ます。天然の観念は、広がる霊に地位を譲ります。これが、わたしたちが命において成長する道です。そして、この命における成長から一が出てきます——ピリピ 2:2 :
- A. ピリピ人たちは再生を通して彼らの霊の中にキリストを持っていましたが、造り変えを通して彼らの魂の中にキリストを持っていませんでした。キリストにわたしたちの魂全体に浸透させ、それを占有させてはじめて、わたしたちは魂において一になることができます。
- B. わたしたちは内住の霊がわたしたちの魂を徹底的に浸透するようにさせ、それが有機的に造り変えられるようにしているのでしょうか？ わたしたちはその霊に自由を与えて、わたしたちの霊と同じようにわたしたちの魂を飽和させているのでしょうか？ わたしたちの魂が内住の霊によって浸透されるとき、わたしたちは新しい人と一になって、からだの中で建造されます。
- VI. エペソ第 4 章 12 節から 16 節は、キリストのからだの建造が命の成長にかかっていることを、わたしたちに告げています :
- A. わたしたちがすべての事で彼の中へと成長し込むことは、わたしたちの魂がその霊で浸透されることを通して起こります。主が新しい人を得るためには、「からだの成長」がなければなりません—— 2:15. 4:23-24. コロサイ 3:10-11。
- B. 彼のからだが建造されるとき、彼は地上に新しい人を持って、神の永遠の定められた御旨を遂行します。これは、主が追い求めている目標です。
- C. この事が実現するように祈りましょう。そして、この事のために自分自身を彼にさげましょう : 「主よ、わたしの霊からわたしの魂の中へとあなたご自身を広げてください。わたしの魂に浸透してください。わたしを新陳代謝的に造り変えてください。わたしは有機的に変えられたいです」。
- D. しばらくすると、わたしたちは命における成長によって造り変えられます。そのとき、わたしたちはからだの中へと建造されて、新しい人の肢体となります。新しい人が存在するようになることが、主の目標です。彼と一になって、魂の造り変えを通して命における成長を追い求め、からだを建造して一人の新しい人となりましょう。